



## 「住宅改修に関する理由書」の記載方法について

日ごろから、介護保険事業の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

今月のテキセイカだよりは、「住宅改修に関する理由書」（以下理由書）の記載方法についてです。高齢化の進行に伴い住宅改修の需要の増加も見込まれますが、そういった社会状況の中ではより効果的な住宅改修を行うことが求められます。そこで効果的な住宅改修を行えるかどうかの要である理由書作成に際して意識しておくべき点をまとめましたので、参考にいただければ幸いです。

### 1 理由書一枚目（総合的状況）の記載内容

※アルファベットは別紙理由書記入見本に対応した記号ですので、併せてご確認ください。

#### A 【利用者の身体状況】

- 現在の身体状況、それに関連する既往歴等
- 住宅改修を行う箇所に関連する生活動作についての現在の状況

##### ★POINT★

既往歴だけではなく、現在の身体状況や生活動作について詳しく記載してください。  
また、それによる危険性についても具体的に記載しましょう。

#### B 【介護状況】

- 利用中（予定）の介護サービスと頻度
- 介護者や必要な介助内容についての情報
- 住宅改修を行う箇所の利用頻度

##### ★POINT★

改修をする箇所の現在の利用頻度の記載があれば、工事の必要性がより伝わりやすくなります。  
例) 玄関上がり框の踏み台の設置 → ~のため週に2回外出している  
トイレまでの動線上の手すりの設置 → 夜間頻回にトイレに行く

#### C 【住宅改修により、利用者等は日常生活をどう変えたいか】

- 住宅改修を行うことによる利用者及び家族にとってのポジティブな予後予測

##### ★POINT★

今後を見据えて、**在宅でどのように生活していきたいかという目標を設定することが大切です。**  
利用者やご家族の希望だけではなく、専門職の意見等を踏まえながら目標や施工内容を調整していくことが、より効果的な住宅改修につながります。

## 2 理由書二枚目の記載内容

### D 【具体的な困難な状況】

- 現在のADL
- 介助の際の障害となるもの
- 住宅改修を行う箇所の住環境に関する具体的な現状

#### ★POINT★

とにかく具体的に状況を記載することで、現状の住環境の問題点がより伝わりやすくなります。

例) 「入浴動作が困難」

→ 「またぎ」「浴室内移動」「扉の開閉」「椅子からの立ち座り」等一連の動作を細かく分けて状況を具体的に記載する。

### E 【改善の方針】

- 現在の困難事項を改善するための住宅改修の内容
- 住宅改修による効果（先の項目で把握した課題をどのように解消できるのか）

#### ★POINT★

【具体的な困難な状況】で把握した課題に対して、住宅改修で得られる効果を具体的に記載することで、その工事の必要性がより明確になります。

この欄には、工事内容に対応する番号を記載するようにしてください。

#### ～理由書様式を一部改正しました！～

理由書の1枚目の書式が以下のとおり変更になりました。

【住宅改修による効果・改善点】 → 【住宅改修により、利用者は日常生活をどう変えたいか】

今後は新書式での申請をお願い致します。

#### ●変更の目的

住宅改修を行う際にとっても重要な観点である、改修後に利用者・家族がどういった生活を行っていきたいのかという予後予測を意識的に記載していただくためです。

#### ●新しい様式の入手方法

茨木市長寿介護課のホームページからダウンロードしてください。

急な変更にはなりますが、ご理解ご協力のほどよろしくお願いします。



介護給付適正化担当  
テキセイカ

ケアマネが理由書を作成する際、施工業者に工事内容の検討を任せきりにしていませんか？

ケアマネも理由書作成を通じて、利用者様の住環境の課題を検討しながらしっかり関与していくことで、より良い住宅改修につなげることができるぞ！